

関東甲信越地区大会

応用・発展部門 審判連絡会議での確認事項と運営より連絡

下線部は会議で話題にはなりませんでしたがこの通りさせていただきます。

○進行について

代表が出ていない都府県もあるが時間をつめて行うことはなく時間通り行う。

○表彰について

決勝の上位2校は全国大会へ、3校目は審査員による協議によって決定する。後日、神奈川県技術家庭科研究会ホームページにて発表する。

○通信について

Zoomは各校一台のみの接続とし見る用としてはプロジェクタ等を用意する。

タイムは運営本部からzoomの画面で提示する。

Zoomが通信不良で静止する場合がありますため会場で別に動画を撮影し、静止した場合はその動画をもとに運営本部と各校の審判が協議し得点を決定する。

画像が不鮮明なため、各校の審判の判断を優先する。

○車検について

試合前には大きさなど簡単な車検は行うが細かな確認ができないため審判は接続前に事前に細かな車検をする。

○プレゼンについて

プレゼンはしっかりとした発声で行う。

プレゼンは画面共有を使ってプレゼンテーションソフトを使ってもよい。

○競技について

・水球での消火ができないことの判断は生徒が判断することができ「消火不可突入します」とコール後、メインロボットで直接炎ブロックを倒せるものとする。

・搬送フェーズ救出エリア内でキャラがステージの下のコート内に落ちてしまった場合、生徒の申告「キャラをステージに乗せてください」等があった場合、審判がキャラをキャラステージに乗せていいものとする。

・搬送フェーズ現場エリア内でキャラが落下した場合は救出エリア内からキャラを乗せて再スタートすることができる。救出エリアの線上にロボットを置いて可とする。

・消化フェーズ、PK戦問わず壁に水球が当たり炎ブロックを倒すこともボーナスポイントとする。

・PK戦では手でセットした5球のみとし、戻ってきたボールは使えないものとし、一球一球その都度、炎ブロックを3本立て直して一度に3本倒れても良いとする。先攻後攻は競技順の学校が早い方が先攻とする。